

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 3年 2月 17日

事業所名 きりしま総合発達支援センター わかば

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	4	1		
	2	職員の配置数は適切である	5	0		
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	3	2	総合は建築時にスタッフの希望も取り入れてできる範囲でバリアフリー化しています。	不備があれば提案して改善できるようにしていく。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	3	2	研究、ディスカッション、各部署、各委員会・係の話し合いの中で積極的に行っていると思います。	PDCAサイクルの書式などは使っていませんが、PDCAサイクルの意味を各自で理解出来るようにしていきます。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	4	1		
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	5	0		
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	2	2		今後検討していく予定です。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	5	0		
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	3	2	できるかぎり利用者様と保護者様のニーズを聞き取り、アセスメントも行っています。	個別支援の作成に活かしていますが、今後もより内容の検討には努めていきたいです。
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	2	3	各専門職が子どもの状況によってアセスメントの方法は使いわけてはいます。その中には標準化されたものも含まれています。	
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	2	3	個別の療育の為、個々の立案になりやすいが、それぞれで情報交換しながら個々のプログラムに取り入れる場合もあります。	
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	2	3	それぞれのグループによって活動は、工夫しています。	
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	3	2	社会生活で起こりうる課題に対しての支援の方法を保護者には伝えています。また日々の発達支援でも社会生活の中で起こりうる課題をイメージしながら支援を行っています。	
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	2	3	半年に1回、評価を行い療育の内容や活動の見直しを行っています。	
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	2	3	小集団療育の前には行っていません	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	1	3	小集団療育の後には記録等で気付いた点などについて共有しています。	
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	2	3	日々の記録を正しくとるようにはしています。その時行った支援についても記録で残しており、担当間でも共有出来るようにしています。	
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	3	2	3ヶ月に1回モニタリングを行い、個別支援の見直しの必要性を判断しています。	
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っている	2	3		行っていますが、不十分な点もあるかと思いません。充実できるよう検討して行きます。

関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	5	0		
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	3	2		学校との情報共有は行っている学校と行っていない学校とで差があるため、必要性に応じてではありますが、全体的に行っていきたいと思います。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	1	3	報告書、電話、メール、母親便などを使って積極的に行っています。	
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	1	4	就学前に利用していた保育所等とはほとんどやり取りは行えていません。同法人であれば情報共有は行えています。	
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	3	2	ケースは少ないですが、支援内容を提供しています。	
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	1	4	開催されている研修等は参加しています。	
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある		5		交流する機会はつくれていません。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	1	4	自立支援協議会の子ども専門部会に当法人から4名参加しています。	参加する際は朝礼などで報告していますが、子ども専門部会が自立支援協議会の下部組織であることが理解されていないのかもしれませんが、各自で学習していきます。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	5	0		
保護者への説明責任等	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレントトレーニング等の支援を行っている	1	4	ペアレント・トレーニングの形式では支援は行っていませんが、学習会、事業所内相談、モニタリング、療育時の相談、その他電話などで行っています。	
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	3	2	利用開始時に行っています。	児発から移行の場合は詳細には行われてないかもしれません。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	2	3	必要に応じて対応して来所していただいたり、時間を設け助言や必要に応じた支援を行っています。	
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	1	4		保護者向けの会が、現在開催がないため今後、検討はしていきたいです。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	4	1		
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	5	0		
	35	個人情報に十分注意している	4	1		
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	5	0		
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	1	4		感染症対策のため地域との交流は行えていません。

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	5	0		
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	5	0		
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	4	1		
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	2	3	行っています。	
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	2	2	食事提供を行う場合は当然行っています。	
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	4	1		